

※**世界初!!
2年連続**

世界でもっとも絶滅の危機に瀕しているリクガメ



ヘサキリクガメの繁殖に成功!

※2015 年度国際血統登録による

野毛山動物園では、絶滅危惧種のヘサキリクガメの繁殖に2年連続で成功し、4頭目の赤ちゃんが誕生しました。

ヘサキリクガメは飼育園館が少なく、飼育下繁殖は世界的にも例が少ないため、飼育方法等に不明な点が多い動物です。平成29年8月13日(日)に孵化した個体は、平成28年12月30日(金)に産卵した3個のうちの1個です。孵化した個体は、すでに展示を開始しており、館内の別室では昨年生まれたヘサキリクガメ3頭もご覧いただけます。

また、現在、孵卵器には5個が入卵しており、温度や湿度の管理をしつつ、孵化を待っているところです。

野毛山動物園では、今後も動物園の役割である「種の保存」に取り組んでまいります。



今回孵化したヘサキリクガメ

※動物の体調により、公開を見合わせる場合もございます。



野毛山動物園



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 鈴木 浩 TEL045-231-1307

【参考資料】

1 今回孵化した個体について

- ◆孵化日：平成 29 年 8 月 13 日(日)
- ◆頭数：1 頭 ※性別不明
- ◆孵化日数：226 日（海外の文献によると 6～9 カ月）
- ◆孵化した卵について

平成 28 年 12 月 30 日に産卵。その後、孵卵器に入卵。

- ◆両親：両親とも種の保存法違反で摘発された違法飼育個体。平成 23 年 4 月 30 日から野毛山動物園で飼育



2 ヘサキリクガメについて

- ◆和名：ヘサキリクガメ
- ◆学名：Astrochelys yniphora
- ◆分類：カメ目 リクガメ科
- ◆分布：マダガスカル島北西部のバリー湾周辺
- ◆形態：最大甲長約 45cm のどの下の甲羅の喉甲板が船の

ヘサキのように伸びており、名前の由来ともなっている。

- ◆国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト：

絶滅危惧 IA類（CR）ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

- ◆ワシントン条約（CITES）：附属書 I

絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの

- ◆生態等：野生ではアフリカマダガスカル島の一部に約 100～400 頭が生息するのみで、世界でも最も絶滅が危惧されているリクガメの一種。1970 年代に森林伐採などで生息数が激減し、自然団体が 10 年以上かけて同島で 170 頭ほどの繁殖に成功したものの、1996 年にはその約半数が盗まれ、各国に密輸された。食性は植物食で草や多肉植物等。

- ◆国内飼育園館について：野毛山動物園のみ 9 頭（オス 2 頭 メス 1 頭 不明 6 頭）
（今回繁殖した個体含む）（2017 年 8 月末日現在）



3 野毛山動物園について

- ◆入園料：無料
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）※10 月は無休
- ◆交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩 15 分、
または市営バス 89 系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 10 分
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>
- ◆住所：横浜市西区老松町 63-10
- ◆問合せ先：045-231-1307